

# 街中のビルに集いの場

## 新潟・中央区 世代問わず自由に交流



オープンしたカフェで客と談笑する本間さん(左)(新潟市中央区で)

子どもや高齢者、障害者らが支え合う社会づくりを目指す交流施設「ラップ・オ・タカイニ」が新潟市中央区の街中のビルにオープンした。1階にはカフェ、2階には自由に活用できるスペースがあり、若者も含めた幅広い世代の交流が期待される。

市が各区に設置を進めている「地域包括ケア推進モデルハウス」の一つで、中央区内にできるのは初めて。3月下旬に発起式を行ったばかりで、市民らの協力を得て約1か月で完成した。若者などの往来が多い西堀前通に立地している。

1階のカフェにはテーブルのほかにカウンターの席もあり、若者が集まりやすい雰囲気につなげている。2階は長机やパソコン、DV

「オープンした2日には、早速近くに住む市民らが訪れてコーヒーや会話を楽しんでいた。障害で右足などが動かない同区の阿部良子さん(72)は「普段話さない人とも交流できる場になりそう。運営する中で、高齢者や障害者がより利用しやすい環境を整えてほしい」と話した。

運営は、NPO法人のメンバーら7人が担う。理事の本間庸子さん(45)は、「多くの人の支えがあって、オープンにこぎ着けた。世代や障害の有無を問わず、たくさんの方が気軽に集まれる居場所になりたい」と話していた。

施設の利用料は、ドリンクバー付きで大人300円、高校生100円、中学生以下無料。イベントなどで貸し切る場合は相談が必要。問い合わせは、ラップ・オ・タカイニ(025・378・3236)へ。

Café & pub  
ラップ・オ・  
タカイニ

読売新聞(5/13)に  
掲載されました

みんなが  
集える

地域の居場所  
お気軽にとりこめ